

fine food is our business

**ROYAL
GROUP**

平成21年12月期 前年同期比較

(証券コード:8179)

ロイヤルホールディングス株式会社

URL <http://www.royal-holdings.co.jp/>

平成22年2月12日

目次

	頁
第1部 実績報告	
＊ 平成21年12月期決算の概況	4
＊ 平成21年12月期決算 連結業績	5
連結業績(補足)	6
セグメント別 売上高・営業利益	
全体	7
外食事業	8
食品事業	9
機内食事業	10
ホテル事業	11
第2部 業績予想	
＊ 業績予想の前提	13
＊ 平成22年12月期決算予想 連結業績	14
セグメント別 売上高・営業利益	15
注意事項	16

fine food is our business

第1部

実績報告



fine food is our business

平成21年12月期 決算の概況

・ 全体

デフレを背景に経営環境は悪化したが各種経営施策を進め収益力を改善

【以下のセグメント概況では外部売上高および営業利益についての説明を記載しております。】

・ 外食事業

- 不採算店舗等の閉鎖・消費者の外食控えの影響を受け、減収(▲8,237百万円)
- 適正なコスト管理・固定費削減・不採算店舗の整理により、増益(+1,247百万円)
 - ・ ロイヤルホスト事業は、減収(▲5,706百万円)・減益(▲397百万円)
 - ・ てんや事業は、減収(▲487百万円)・増益(+113百万円)
 - ・ その他外食事業は、減収(▲2,044百万円)・増益(+1,184百万円)

・ 食品事業

- 景気低迷の影響を受け減収(▲243百万円)／生産性向上努力により増益(+58百万円)

・ 機内食事業

- M&A効果はあったが事業環境厳しく、減収(▲856百万円)・減益(▲398百万円)

・ ホテル事業

- 平成20年以降開業したホテルでの売上増加分が寄与し、増収(+1,138百万円)
ビジネス需要が減退する一方で、新規開業費用等がかさみ、減益(▲247百万円)

fine food is our business

平成21年12月期決算 連結業績

【単位:百万円】

デフレを背景に経営環境は悪化したが各種経営施策を進め収益力を改善

	平成21年 12月期	平成20年 12月期	前年同期比較
売上高	111,896	120,095	▲ 8,199
営業利益	1,763	1,077	+ 686
経常利益	1,916	1,191	+ 725
当期純利益	▲ 468	▲ 5,597	+ 5,129

《参考値:売上高・営業利益・経常利益・当期純利益推移》

	平成17年 12月期	平成18年 12月期	平成19年 12月期	平成20年 12月期	平成21年 12月期
売上高	101,533	116,199	122,995	120,095	111,896
営業利益	4,674	4,180	4,197	1,077	1,763
経常利益	5,014	4,563	4,570	1,191	1,916
当期純利益	3,395	1,653	1,064	▲ 5,597	▲ 468

fine food is our business

連結業績(補足)

昨今の事業環境・金融市場の影響を受け当期純損失を計上

【百万円】

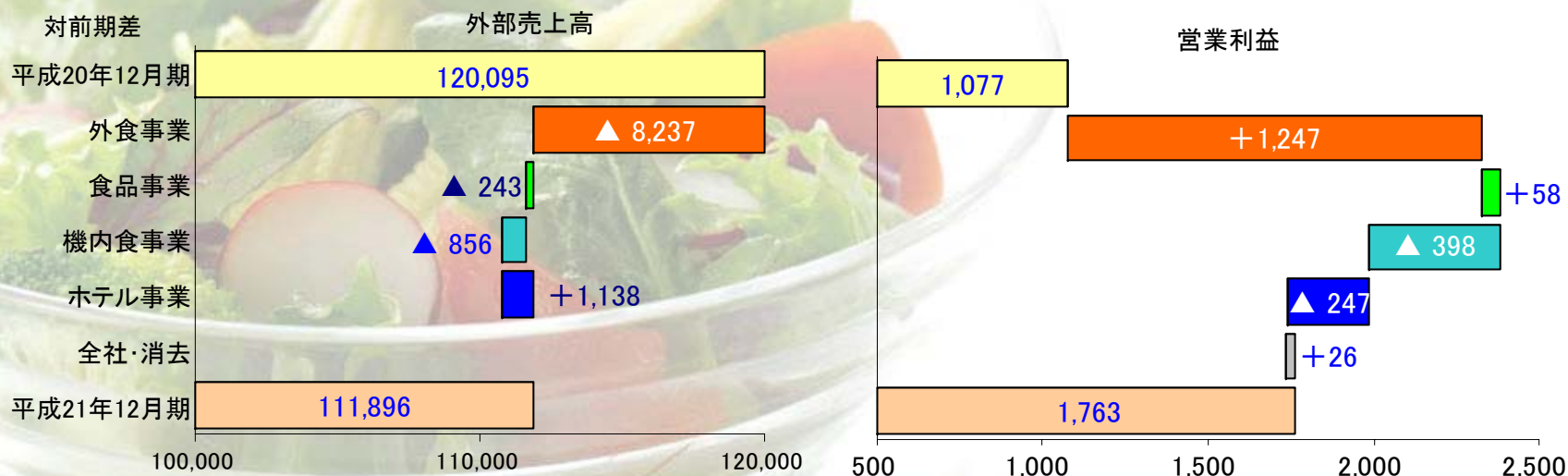
経常利益	1,916	
店舗閉鎖損失引当金戻入額	889	計画していた店舗閉鎖が中止になったこと等による
受取補償金	288	収用等による
特別利益 計	1,177	—
減損損失	849	閉店の決定等により店舗資産を減損したこと等による
投資有価証券評価損	530	時価が著しく下落した保有有価証券の減損処理による
固定資産除売却損	261	店舗の閉店又は改修・改装等による
その他	223	のれん減損損失等、貸倒引当金繰入額など
特別損失 計	1,865	—
法人税等	1,689	繰延税金資産の一部取崩し等による
少数株主利益	7	—
当期純利益	▲ 468	

fine food is our business

セグメント別 売上高・営業利益

【単位:百万円】

実績	平成21年12月期		平成20年12月期		前年同期比較	
	外部売上高	営業利益	外部売上高	営業利益	外部売上高	営業利益
外食事業	90,297	1,289	98,534	42	▲ 8,237	+ 1,247
食品事業	3,525	330	3,768	272	▲ 243	+ 58
機内食事業	5,717	642	6,573	1,040	▲ 856	▲ 398
ホテル事業	12,356	479	11,218	726	+ 1,138	▲ 247
全社・消去	—	▲ 979	—	▲ 1,005	—	+ 26
合計	111,896	1,763	120,095	1,077	▲ 8,199	+ 686



fine food is our business

外食事業

【単位:百万円】

不採算店舗等の閉鎖・消費者の外食控えの影響を受け、減収(▲8,237百万円)
適正なコスト管理・固定費削減・不採算店舗の整理により、増益(+1,247百万円)

【外食事業】	外部売上高	営業利益	備考
平成20年12月期	98,534	42	
ロイヤルホスト事業	▲ 5,706	▲ 397	28店舗閉鎖、次世代モデルへの改装に着手
てんや事業	▲ 487	+ 113	8店舗閉鎖、完全子会社化に着手
その他外食事業	▲ 2,044	+ 1,184	27店舗閉鎖、高速道路は好調、一部を除き増益
間接経費	—	+ 347	コスト管理適正化により増益
平成21年12月期	90,297	1,289	

※ 好調な業態は以下のとおりです。

	外部売上高	営業利益	全店前年比
高速道路SA・PA内店舗	+375	+145	107.8%

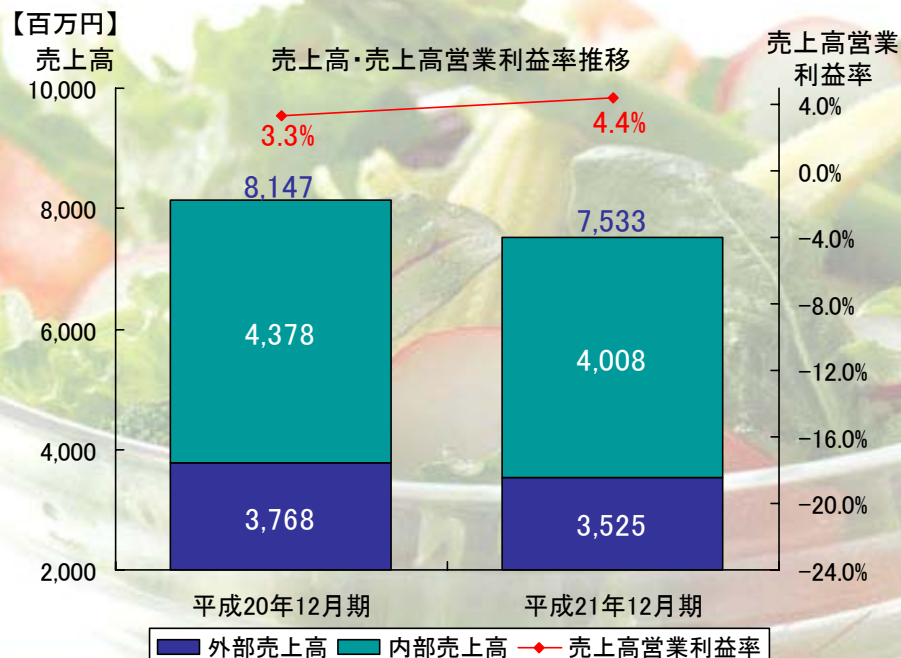
fine food is our business

食品事業

【単位：百万円】

景気低迷の影響を受け、減収(▲243百万円)／生産性向上努力により、増益(+58百万円)

【食品事業】	外部売上高	営業利益	備考
平成20年12月期	3,768	272	
変動分	▲ 243	+ 58	新規顧客の獲得はあるも、製造出荷が伸び悩み
平成21年12月期	3,525	330	



全国各地のおいしさ色々 こだわりのお取り寄せ



ロイヤルオンラインショッピング

ロイヤルが選んだ【とっておきのおいしさ】をお届けします

<http://www.shoproyal.jp/>

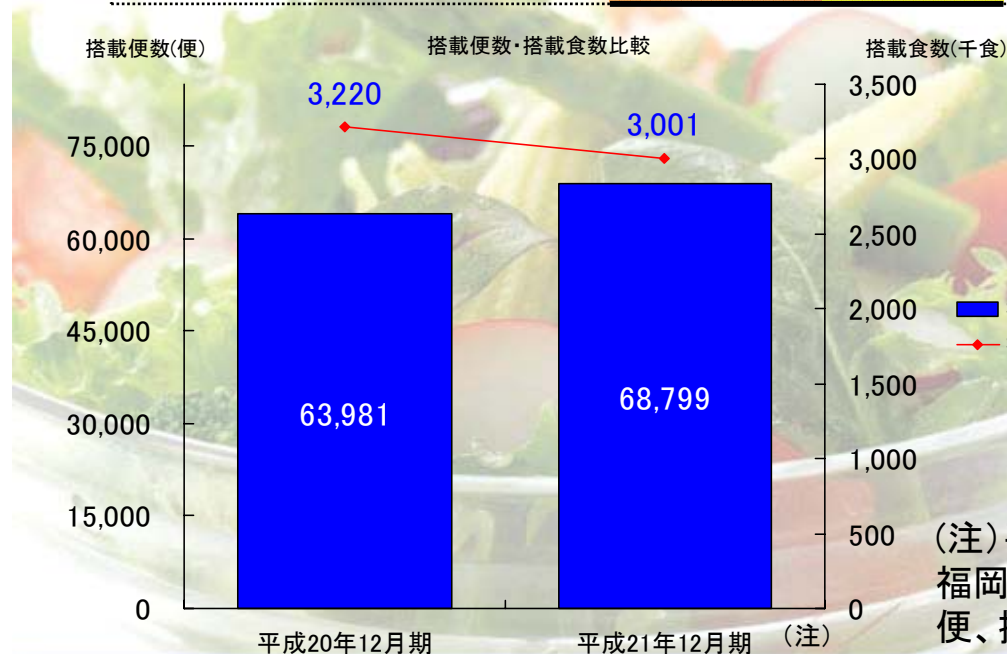
fine food is our business

機内食事業

【単位:百万円】

M&A効果はあったが事業環境厳しく、減収(▲ 856百万円)・減益(▲ 398百万円)

【機内食事業】	外部売上高	営業利益	備考
平成20年12月期	6,573	1,040	
M&A効果※	+ 353	▲ 31	上半期分、のれん償却後、経営統合は順調に進捗
変動分	▲ 1,209	▲ 367	搭乗率低下や航空会社による合理化の影響
平成21年12月期	5,717	642	



※対象会社:福岡ケータリングサービス(株)

平成20年第3四半期より連結化

(福岡ケータリングサービス(株)は、ロイヤル(株)の機内食事業を承継し、平成21年1月1日付で福岡インフライトケータリング(株)へ商号変更致しました。)

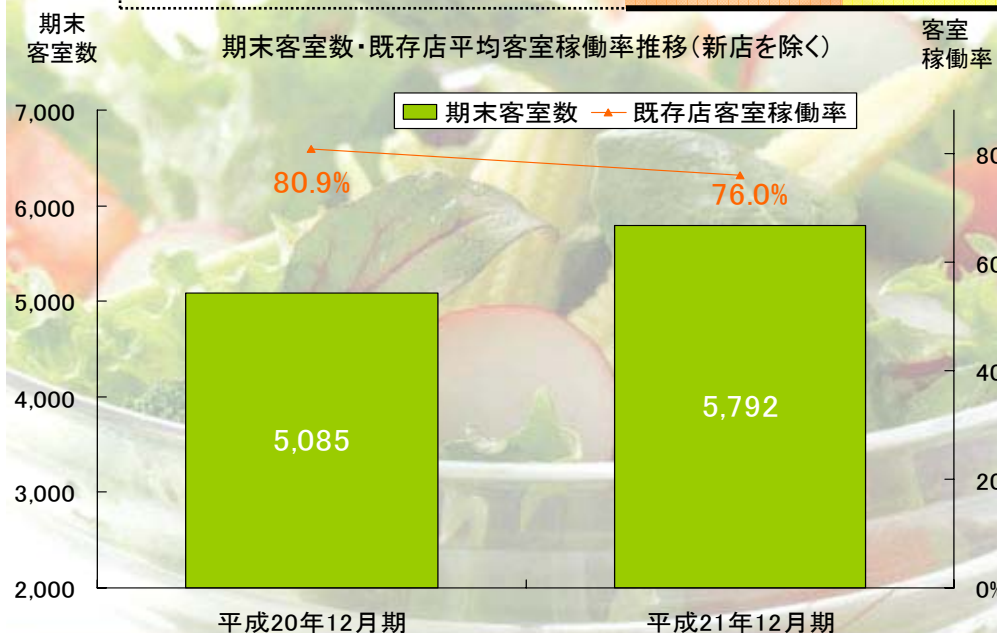
fine food is our business

ホテル事業

【単位:百万円】

平成20年以降開業したホテルでの売上増加分が寄与し、増収(+1,138百万円)
ビジネス需要が減退する一方で、新規開業費用等がかさみ、減益(▲247百万円)

【ホテル事業】	外部売上高	営業利益	備考
平成20年12月期	11,218	726	
新規開業効果※	+ 1,419	▲ 53	平成20年以降新規開業した9店分
既存店増減分※	▲ 281	▲ 194	既存店は客室稼働率・客室単価とも低下
平成21年12月期	12,356	479	※平成21年開業費用、補修費用合計:244百万円



平成20年以降開業実績

ホテル名	開業日	室数
リッチモンドホテル山形駅前	平成20年1月8日	220
リッチモンドホテルプレミア武蔵小杉	平成20年3月24日	305
リッチモンドホテル熊本新市街	平成20年4月1日	160
リッチモンドホテル帯広駅前	平成20年6月7日	209
リッチモンドホテルプレミア仙台駅前	平成20年7月1日	184
リッチモンドホテル秋田駅前	平成21年1月9日	198
リッチモンドホテル成田	平成21年6月1日	207
リッチモンドホテル鹿児島天文館	平成21年7月1日	125
リッチモンドホテル青森	平成21年12月8日	177

fine food is our business

第2部

業績予想



fine food is our business

業績予想の前提

事業環境

- ◆ 雇用不安や所得減少懸念により、個人消費は停滞
- ◆ 低価格化を推し進める企業間における厳しい競争が継続
- ◆ 既存店、既存顧客に関する売上押し下げ圧力が継続

売上高…◎、営業利益…○

ロイヤルホスト 事業

◎○【既存店前年比】	上期	下期	通期
売上高	96.7%	100.1%	98.4%
来客数	97.4%	99.0%	98.2%
客単価	99.3%	101.1%	100.2%

その他の 外食事業

- ◎ 多くの業態では客単価を前年並みの水準に維持、店舗数減少の影響あり
- 現場力の再強化などにより前年並みの利益水準を維持

食品事業

- ◎ 商品開発力の強化によりグループ外販売は前年並みの売上水準を維持
- 現場力強化・シナジー効果による生産効率・収益性を維持

機内食事業

- ◎ 業務プロセスの改革により競争力を維持し前年並みの売上水準を維持
- 現場力強化・シナジー効果による生産効率・収益性を維持

ホテル事業

- ◎ 平成21年に開業したホテルが通年で寄与することなどにより増収
- 販売力強化による客室稼働率向上により収益性を改善

fine food is our business

平成21年12月期 連結業績予想

厳しい経営環境の中、売上高は減少するが、利益水準維持、当期黒字を予想

【億円】

	平成22年12月期 予想	平成21年12月期 実績	増減率
売上高	1,075.0	1,119.0	▲ 3.9%
営業利益	19.0	17.6	+ 7.7%
経常利益	20.0	19.2	+ 4.3%
当期純利益	1.0	▲ 4.7	—

fine food is our business

セグメント別 売上高・営業利益予想

外食事業の減収は続くが、食品事業・機内食事業は概ね前年並み
ホテル事業の増収増益寄与により、連結ベースでは減収増益を予想

外部売上高

【億円】

	平成22年12月期 予想	平成21年12月期 実績	増減率
外食事業	850.0	903.0	▲ 5.9%
食品事業	35.0	35.3	▲ 0.7%
機内食事業	57.0	57.2	▲ 0.3%
ホテル事業	133.0	123.6	+ 7.6%
全社・消去	—	—	—
合計	1,075.0	1,119.0	▲ 3.9%

営業利益

【億円】

	平成22年 12月期予想	平成21年 12月期実績	増減率
	13.3	12.9	+ 3.2%
	3.2	3.3	▲ 3.0%
	6.0	6.4	▲ 6.5%
	6.5	4.8	+ 35.7%
	▲10.0	▲9.8	—
	19.0	17.6	+7.7%

fine food is our business

注意事項

- ・ 本資料に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。
- ・ 本資料に記載している当期純利益については、当期純損失の場合に▲で表示しております。
- ・ 本資料に記載している12月期については、対象年の連結累計期間として表示しております。
- ・ 本資料に記載している平成22年通期の予想値は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があることをご承知おきください。

本資料に関する問い合わせ先：

ロイヤルホールディングス株式会社 財務企画部

電話：03-5707-8873 藤岡 / 鹿又(かのまた)

fine food is our business